

コロナに負けない！ おいしいぬくもり 喫茶室まいペーす

ゆたーっと ひととき まいペーす
野菜たっぷり愛情たっぷりメニュー

喫茶室「まいペーす」は、社会福祉法人くまもと障害者労働センターさんが営むカフェです。『障害があってもなくても共に働く』を理念としています。

まいペーすではオムライスやキーマカレーなどのご飯もの(スープ・サラダ付きで各600円)や、一杯毎に豆から挽いて淹れるコーヒー(250円)などをお楽しみいただけます。日替わり弁当は、あったかいスープ付きで500円です。

はあもにいに来館された際に、ゆたーっと、ひととき過ごされませんか。特製バニラアイス(100円!)もおすすめです!



「毎日食べてもらいたいから...」。思いを込めて作っている日替わり弁当は平日、数量限定の販売。お得なお弁当チケットあり。予約可



牛乳と生クリームをふんだんに使用し、一日かけて作り上げる自慢のバニラアイス。どこか懐かしい味わいにほっとします。

喫茶室まいペーす
はあもにいに1階 駐車場側入り口入ってすぐ左側
TEL 070-4736-1985
営業時間 11:00~15:00 (ランチは14:00まで)
※はあもにいに休館日はまいペーすもお休みです。その他臨時休業の際ははあもにいにホームページでお知らせします。

相談窓口について

相談は無料。どなたでもご利用いただけます。各相談では、専門の相談員がお話を伺います。秘密は固く守られます。

【男女共同参画課相談室】(熊本市役所内)

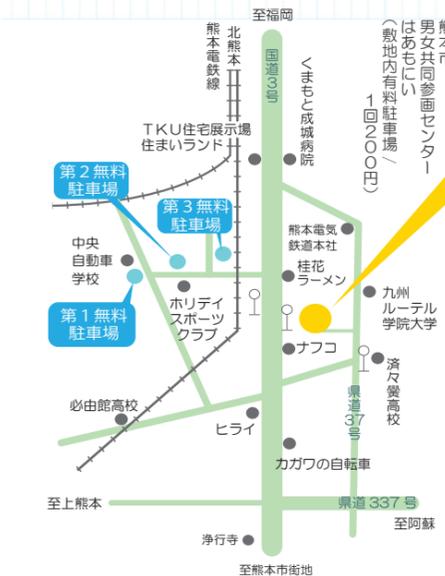
【熊本市DV相談専用電話】

専門相談		
専門相談 面談予約専用電話	月曜日~金曜日 10:00~16:00	096-352-2587
	内容	相談日時
心理相談	生き方、心まつわる様々な相談を臨床心理士がお受けします。※奇数月は男性心理士、偶数月は女性心理士が対応	第2火曜日 13:00~16:00 面談相談
DV法律相談	DV(パートナー等からの暴力)に関する相談に弁護士がアドバイスします	第2・3木曜日 13:00~16:00 面談相談
男女共同参画に関する法律相談	離婚・親権・パワハラ・セクハラなど男女共同参画に関する相談に弁護士がアドバイスします	第4木曜日 13:00~16:00 面談相談

電話番号	096-328-3322	
DV相談	配偶者からの暴力に関する相談を相談員がお受けします	月曜日~金曜日 8:30~17:15 電話相談

※一般相談は、2019年4月1日より廃止になりました。ご相談は各区役所福祉課でもお受けすることができます。その他、熊本市にお住いの方は、こころの健康センター、子ども・若者総合相談センターなど、内容等によりご相談先がございます。

※はあもにいに総合相談室は、2019年1月に移転しました。



※公共交通機関の利用の協力をお願いいたします。

◆熊本電鉄バスをご利用の場合

- ⇒C1、3乗車で「男女共同参画センターはあもにい前」下車
- ⇒C4、5、6、7、9乗車から「済々黌前」下車

※C1、3のバス停は、はあもにい目の前です。

熊本市男女共同参画センター はあもにい HARMONY

〒860-0862 熊本市中央区黒髪 3-3-10
TEL : 096-345-2550
FAX : 096-345-0373
http://www.harmony-mimoza.org/
info@harmony-mimoza.org

【開館時間】
ホール・研修室 / 9:00~21:30
情報資料室 / 9:00~19:00

【休館日】
第2・第4月曜日
(祝日の場合は翌日・12月29日~翌年1月3日)

熊本市男女共同参画センターはあもにいは2020年4月7日に開館30周年を迎えました。皆さまの温かいご支援、ご愛顧の賜と深く感謝申し上げます。

【熊本市男女共同参画センターはあもにい情報紙】 はあもにい通信

※通信はホームページでもご確認ください

2020.8月号 vol.98

発行日/2020年7月25日

編集・発行/熊本市男女共同参画センターはあもにい

☎096-345-2550

はあもにい講座・催しのご案内

参加には申し込みが必要です。
お子さんをお預かりします。事前予約。

熊本市男女共同参画センターはあもにいは、感染症防止の観点から貸室使用の定員などを変更しています。情報資料室は7月14日(火)に9時~19時の通常開室時間に戻りました。新聞・雑誌の閲覧などは可能ですが、一部制限を継続しています。詳しくはホームページ等をご確認ください。

ご利用に際しては、感染症防止対策を徹底していただくようお願いいたします。
なにとぞご理解・ご協力をお願いいたします。

【メインホール・多目的ホール催事予定につきましては今号も掲載はございません。ホームページをご確認ください】



参加者募集

よんで ☺ よんでの会

はあもにい幼児室スタッフがおすすめ絵本や紙芝居の読み聞かせ、ふれあいあそびを行います。パパ、ママ、お子さんの参加をお待ちしています。

8/4(火) 11:00~(30分程度)

会場 1Fロビー 料金 無料 申込 不要
対象 就学前のお子さんとその保護者

<ウイメンズカレッジ公開講座>
伊藤比呂美氏 x 大場隆氏トークショー
「女の一生。カラダだって、山あり、谷あり」

長年新聞紙上の「身の上相談」を通して、多くの女性の心身の変化や悩みに触れてきた伊藤比呂美さん。主に「妊娠」「出産」「不妊」「更年期」などをテーマに、伊藤さんと熊本大学病院産科婦人科准教授の大場隆さんとのトークセッションを行います。

8/29(土) 10:00~12:00

会場 2階多目的ホール
講師 伊藤 比呂美氏 (詩人/早稲田大学教授)
大場 隆氏 (医学博士/熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学講座准教授)

対象 どなたでも 料金 無料
定員 80名(先着順・要事前申込)
申込 8月5日(水)より電話・右記申込フォーム(HP内にもフォームあり)で受付

<男女共同参画基礎講座>
熊本が生んだ詩人 高群逸枝

日本女性史研究の先駆者として知られる高群逸枝は、現在の宇城市出身。ふるさ

とを思んで「望郷子守歌」を作るなど、詩人として活躍した側面に光をあて、熊本が生んだ先駆者の女性について学びます。

9/5(土) 10:00~12:00

会場 2階学習室
講師 谷口 絹枝氏 (日本近代文学研究者)
対象 どなたでも 料金 無料
定員 30名(先着順・要事前申込)
申込 8月7日(金)より電話で受付

はあもにい
メンズカレッジ

男性に知ってほしい男女共同参画とダイバーシティ(多様性)について学ぶ講座。「男女共同参画」「SDGs」「性的マイノリティ」をテーマに全3回の講座を実施します。

① **9/15(火)** ② **10/14(水)**

③ **11/14(土)**

①②14:00~16:00
③10:00~12:00
会場 2階学習室・4階研修室 料金 無料

講師 ①鈴木 桂樹氏 (熊本大学法学部教授)
②熊野 たまみ氏 (SDGs de 地方創生公認ファシリテーター)
③森 あい氏 (弁護士・くまにじメンバー)

対象 一般男性 (特に企業の総務、人事担当者)
定員 20名(先着順・要事前申込)
申込 電話・右記申込フォーム(HP内にもフォームあり)で受付

相談受付

行政相談

福祉のこと、医療保険や年金のこと、役所の手続きのこと...あなたの悩みを行政相談委員に相談しませんか?

8/3(月)

会場 1階ロビー 料金 無料
相談員 伊藤一敏さん・吉永伯枝さん (総務省 行政相談委員)
問合せ 総務省熊本行政評価事務所
☎096-324-1662
☎0570-090110 (行政苦情110番)



毎月開催 働き方相談所

就職活動や就業に関する不安、現在の仕事に対する悩みなどに個別に対応します。求人検索も行います(この場での紹介状発行は行いません)。

1歳~未就学児の託児あり(実施日の10日前までに要予約)。子ども同席可。

8/19(水) 10:00~16:00 (1人1時間程度)

相談員 ハローワーク相談員 料金 無料
申込 電話で随時受付 (開館日の9時~19時)

「男女共同参画の視点に立った」 無料防災出前講座

災害時に必要な「男女共同参画の視点に立った防災」について一緒に考えてみませんか。条件等詳しくは、はあもにいホームページまたはお問い合わせを。参加者にオリジナルポイントBOOKプレゼント。



はあもにいの事業や活動をご紹介します

ウィズコロナの中で学びの継続を 第7期ウィメンズカレッジ開講

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、はあもにいは3月から主催講座を中止し、今年度実施の講座も一部延期しました。県内の感染状況が落ち着いたことから、ようやく今年度最初の講座となる「第7期はあもにいウィメンズカレッジ」を6月13日土曜日に開講することができました。

ウィメンズカレッジは、政策・方針決定の場で自らの考えを発信でき、社会や企業のリーダーとして活躍できる女性人材の発掘と育成を目的とする講座です。定員を30名から20名に変更し、感染症対策を施してのスタートとなりました。

さまざまな職種、立場にある受講生がこれから約8カ月、男女共同参画の現状や課題など多面的に学びます。

全10回の講座の初回は、熊本県立大学総合管理学部の澤田道夫教授に「地域における女性リーダーの役割／ワークショップの進め方(基礎)」を学びました。受講生からは「女性リーダーの必要性がよく理解できた」「自分も役に立ちたいと思った」という感想が寄せられました。受講生の今後がとても楽しみです。



講座は、空間を広く取り、隣り合わせの席には手作りのシールドを置き、開講しました。交流会が実施できないため、交流の方法を検討しています。



ウィズコロナ、ポストコロナにおける「意思決定の質の高め方」についても触れた澤田教授



講座冒頭では、講座終了後に目指したい自分の姿を所信表明として記入してもらいました

男女共同参画啓発事業
「第7期はあもにいウィメンズカレッジ」
実施予定日時:2020年6月13日(土)~2021年1月23日(土) 全10回
毎月1~2回(土曜日) 原則10:00~12:00
場所:2階学習室ほか 受講者数:20人
講師:澤田道夫氏(熊本県立大学総合管理学部教授)ほか8人

その魔球に、まだ名はない

エレン・クレイジス／著 あすなろ書房

1950年代のアメリカ。10歳のK.C.ゴードン(ケイティ)は、不規則に変化する決め球を駆使し、剛腕ピッチャーとして近所の草野球で活躍していました。ある日、リトルリーグのコーチの目に留まり入団試験を受けることに。実力は認められたものの、大きな壁が立ちはだかります。それは「女子は対象外」というルール…。ケイティは規則を覆すため情報収集と調査を開始します!!

ソ連との宇宙開発競争が激化していた時代に、女性差別・人種差別と闘った主人公をはじめとする多くの人びとの物語が爽やかに描かれます。表紙の人工衛星スプートニクを見て、2020年の今、何が違って何が変わらないか、そして人間は進化しているのかを問われている気がしました。お子さんの夏休み読書にもオススメです。

情報資料室 すすすめ本

今月のえ・ほ・ん

「べろべろ ばあ」

あけてびっくり しかけえほん

いろんなどうぶつたちが「べろべろ ばあ!」とびだすたのしいしかけ絵本。どんなどうぶつが「べろべろ ばあ!」しているのかあてっこしてみるのも楽しいですよ♪ さあ、みんなでいっしょに「べろべろ ばあ!」

作 荒井洋行

よんでよんでの会のお知らせは表面をご確認ください。

未来を象徴する2020年に

県南を中心に降り続いた大雨の被害は、予想だにしない規模のものでした。熊本地震からの復興が見えてきた矢先のコロナ禍。その中で起きた、命や暮らし、ふるさとを奪う天災に胸がつかれます。亡くなられた方のご冥福をお祈りし、被害に遭われた皆さまにお見舞いを申し上げます。

2020年。それは日本にとって輝く未来を象徴する年になるはずでした。東京でオリンピックが開催され、さまざまな国から多くの人たちを迎え、競技の感動を共有し、日本の素晴らしさを体感してもらおう絶好の機会。国民挙げて日本流の「おもてなし」を、と意気込んで年明けを迎えたはずでした。しかし、世界中で新型コロナウイルス

緊急事態そのものへの対応がもちろん最重要案件ではありますが、そこであぶり出された社会課題の解決に向けての取り組みをセットにして考えていかなければ、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」繰り返しになってしまいうそです。世界が同じ災禍を体験した今、この社会課題の解決とともに考え、動きだせば、先に述べたものとは違う意味で、2020年が輝く未来を象徴する年になる—と思います。

スの感染が拡大。命は脅かされ、経済は止まってしまふ。その影響は、例えば非正規労働者の解雇など弱い立場の人たちに大きく出ています。そして、その多くが女性だったり、ひとり親だったりする現実を受け止めて、社会に問うことが必要だと感じています。

もちろん女性だけではありません。従事する職種からか、同じ国内でも人種によって罹患率が異なると指摘する海外の報道もありました。平時からあるのに潜伏し見過ごされていく社会的な課題が、緊急時にあぶり出される。何度も経験していることなのに、なかなか状況は変わりません。

わたしのギャラリー

展示を希望する市民グループに1階エレベーター前壁面を無料で貸し出す企画「わたしのギャラリー」。今年度最初の展示となったのは、Y&Yさんのガラスアートでした(7月3日(金)~17日(金)展示)。美しく繊細な作品に、足を止める方が多くいました。第2弾は、8月の坪井お茶の間交流センターさんの展示です(12日(水)~26日(水)予定)。お楽しみに!

ファミリー・サポート

センター〈熊本〉

子どもを預けたい方と預かりたい方で作られる会員組織です。はあもにいの正面入口から入って右側スペースに事務局があります。

お気軽にお問い合わせください。利用には登録が必要です

月曜日~土曜日 9:00~17:00 ☎096-345-3011

「男と女のさん△劇場」

画/ブンノ 絵/巴

「親の心子知らず」ということわざは、親の深い愛情を子どもが理解しないことを意味しています。しかし「心配している」という親心にも気を付けたいことがあります。たとえば心配の内容が性別によるものであった場合、「どうして女(男)だと心配されて、男(女)だったらいのか」と子どもが理解に苦しむことがあるかもしれません。子どものことを案じる視点に性別による思い込みがないか考えてみませんか。そして、お子さん自身の声を聞き、力を信じ、応援してみませんか。

心配より応援を

母さんって... 大学院なんて行かずに就職しよければよかったのに... 就活がさらに厳しくなったわね... コロナ不況で... 車の運転? 事故おこすからやめなさい!! 変な男に... バイト? 飲食店で... じゃあ、あての心配するより応援して!! うちの事、あての事、思ってくれるのならば、心配するより応援して!! だけども心配で... もっと信じてよ、あての力を!!